

ジャクソン・ポロックと親交を持ち、
アメリカ―日本と

2つの国で生きた日系人画家

大阪府20世紀美術コレクション

マイク・カネミツ／金光 松美

ふたつの居場所

2015年4月24日(金)－5月16日(土)

大阪府立江之子島文化芸術創造センター

開館時間／午前11時－午後7時 休館日／月曜日

大阪府20世紀美術コレクション

マイク・カネミツ／金光 松美

ふたつの居場所

2015年4月24日(金) - 5月16日(土)

大阪府立江之子島文化芸術創造センター 4階 展示室1

開館時間／午前11時 - 午後7時 休館日／月曜日



1:《変わりやすい風》1979年 アクリル、キャンバス／2:《桃太郎》1987年 アクリル、キャンバス／3:《流れ #10》《流れ #11》※2点組 1989年 墨、紙／4:《5時15分前》1959年 油彩、キャンバス／5:《春の雨 #1》1985年 アクリル、キャンバス／6:《夜の滝 #7》1990年 アクリル、キャンバス／7:《5-5》1962年 アクリル、キャンバス

GALLERY TALK - ギャラリートーク

1998年に国立国際美術館で開催された「1950-90年／二つの祖国・戦後アメリカ画壇に生きた日系人画家 カネミツ・マツミ／金光松美」展を担当した中塚宏行氏をお迎えして、ギャラリートークを開催します。

2015年4月29日(祝・水) 午後2時 - / 参加無料 ※申込不要、展示室入口付近にお集りください。

中塚 宏行(なかつか ひろゆき)／大阪府生まれ。大阪大学文学部美学科(美術史専攻)卒業。北海道立美術館(札幌、旭川、函館)の学芸員、学芸課長を経て、1992年から大阪府文化課、現代美術センターを経て、大阪府都市魅力創造局文化課 主任研究員(2012-2015)。美術評論家連盟会員、民族芸術学会会員。

金光松美(1922-1992)は、1950年代から60年代にはニューヨーク・スクールの画家として、1970年代以降は色彩画家としてアメリカで活躍した帰米二世の日系人画家です。

1922年アメリカで広島出身の日系移民夫婦の長男として生まれた金光は、3歳から16歳を広島の祖父母の元で過ごしました。その後、仕事を求め単身渡米しますが、二重国籍であった為アメリカ軍に徴兵されます。日米関係が悪化していく時代、日系人であった金光にとってはきわめて過酷な状況でしたが、絵が描けた事で、看板描きや新聞の挿絵などを任されるようになり、ついには軍の中でも画家としての扱いを受けるようになりました。

戦後はボルティモアでパトロンに恵まれ、1951年には本格的に画家を目指し、ニューヨークの美術学校アート・スチューデント・リーグへ入学し、国吉康雄(1889-1953)に師事。国吉の死後は、かねてから付き合いのあったニューヨーク・スクールの仲間、ジャクソン・ポロック(1912-1956)、ウィレム・デ・クーニング(1904-1997)、フランツ・クライン(1910-1962)らと同様に抽象表現主義の作品を手がけるようになります。1954年にはニューヨーク近代美術館のグループ展に出品し、ニューヨーク・スクールの日本人画家として活躍しました。1965年にはロサンゼルスへ移住し、カリフォルニア大学などで教鞭をとりながら、太平洋や四季、気象をテーマとした色彩豊かな作品を数多く残し、1992年69歳で没しました。

大阪府では、1998年に国立国際美術館(大阪)と広島市現代美術館で開催された大規模な個展に際して、その展示作品の一部89点を収集しました。本展では、「大阪府20世紀美術コレクション」の中から、初期の素描作品にはじまり1950年代以降の抽象表現主義的作品、晩年の色彩画家としての作品まで、およそ40点を紹介します。アメリカ、日本の二つの国をもちながら、絵を描き続けることで自分の居場所を作り出し、時代を生き抜いた画家金光松美の生涯とその作品を是非ご覧ください。

ACCESS - アクセス



大阪市営地下鉄千日前線・中央線「阿波座駅」下車、8番出口から西へ約150m。
※館内に一般向け駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。